

第1回研究会 資料3 論点

以下は事務局において一案として整理したものです。
以下の論点以外についても、自由にご議論ください。

(1) 企業・ベンチャー

健康・ヘルスケア分野における、IoT/AI等の活用状況をどう評価するか。(九州地域の)企業・ベンチャーの取り組み状況と課題は。

(2) 自治体・地域課題

データ、AI等を活用した自治体の取り組みを、いかにして促進(支援)するか。ひいては新たなモデル構築や産業振興に波及させていくためのアクションは。

(3) 2025年の九州

「健康寿命延伸社会」の実現に向け、2025年時点の九州が目指すゴールをどのように展望するか。

地域戦略や目標を如何に求めるか。

具体的な連携とビジネス創出に求められることは。

(1) 企業・ベンチャー

健康・ヘルスケア分野における、IoT/AI等の活用状況をどう評価するか。(九州地域の)企業・ベンチャーの取り組み状況と課題は。

企業は、健康を支える課題に対して、どのように具体的かつ有効にビジネス機会と捉え実践しているか。

各分野で現状は(どのように進展しているのか)。

またそのアプローチや展開の課題は。

- 健康予防、 医療、 介護、 等
- 生活習慣病/糖尿病、 高齢化/フレイル、 認知症

ベンチャー企業による、AI,IoTを活用した新しい事業・サービスモデルの構築をいかに促していくか。

(2) 自治体・地域課題

データ、AI等を活用した自治体の取り組みを、いかにして促進(支援)するか。ひいては新たなモデル構築や産業振興に波及させていくためのアクションは。

自治体をベースとした取り組みが直面する課題は何か。それに対し如何にして具体的かつ有効に関与・サポートし得るか。

大学・研究者は、自治体の取り組みに対して、どのようにコミットし、具体的な社会実装の実現に寄与・貢献しているか。

ヘルスケア関連の個々の取り組みを、どのように地域活性化・産業振興に波及・リンクさせていくか。

(3) 2025年の九州

「健康寿命延伸社会」の実現に向け、2025年時点の九州が目指すゴールをどのように展望するか。

地域戦略や目標を如何に求めるか。

具体的な連携とビジネス創出に求められることは。

IoT、AI等の技術革新を踏まえ、2025年の目指すべき九州の「健康長寿社会」とは、どのようなものか。

誰がどのような役割を果たすべきか。九州らしいユニークネスをどの点に求めるか。

第4次産業革命潮流下における九州のヘルスケア戦略を、新産業・新事業の創出の視点から如何にして共有するか。

隘路や課題はどのような点にあるか。